

◇鈴木良勝君

○議長（伊藤福章君）次に、5番鈴木良勝君の一般質問を許可いたします。鈴木良勝君、登壇願います。

（5番 鈴木良勝君 登壇）

○5番（鈴木良勝君）質問通告書により質問させていただきます。

タイトルは、国体で活用した資源の今後の利用についてということでございます。

第62回秋田わか杉国体は、全町民に多くの夢と感動を与え成功裏に終了することができました。これも町長を初めとして町民が一丸となって取り組んだ成果であると感じておるところでございます。さて、国体を開催するに当たりまして、町では総合体育館リリオス初め自転車競技用のバンクの新設、ボランティア組織の育成、または民泊の受け入れなどさまざまな準備作業を進めてまいったところでございます。その努力につきましては、並大抵のものではなかったと認識してございます。関係された方々に深く敬意を表するものでございます。

さて、国体が終了した今、それらの施設や組織が活用されずにいたとしたら非常に寂しいものを感じる次第でございます。そこで、私の提案でございますけれども、私も124校の民泊を受け入れた中の1人でございます、私は福岡県の少年男子のバドミントンを受け入れたわけでございますが、その監督が申ししておりましたけれども、これほどの設備が整った体育館は全国回ってもそんなに数多くはないということを申ししておりました。また、周辺の環境も広大な田園風景に恵まれ、またすぐそばに居酒屋もあるということで、周辺の環境も最高だというお褒めの言葉をいただきました。ただ、ここに宿泊施設がないというのが非常に残念であるというふうに申しおられました。私が提案するのは、これ機に大学や社会人チーム等、バドミントンがあるわけでございますが、この合宿の誘致に取り組んではいかがなものかというものでございます。宿泊施設については新設していただければそれにこしたことはないわけでございますが、民泊でも対応できるのではないかなど。まして、今国体で民泊の受け入れ手法等についても経験しておることですし、また町民の皆様も来ていただいたら何かお手伝いしたいなという気持ちもわいてくるものと思います。そして、これが実現しますと、大きな町の活性化にもつながるものというふうに考えてございますので、どうかその辺のところを町長のご見解を伺うものであります。

○議長（伊藤福章君）答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君）ただいまのご質問にお答えいたします。

議員ご提案の大学や社会人チームの合宿の誘致については、「“人がふれあうまち”をめざして」というまちづくりの目標に合致する取り組みであると存じます。しかし、民泊の扱いについては、今

回の国体と違って継続的に受け入れるには農家民宿の取り扱いとなりまして、旅館業法を初めとした関係法令の対象となり、保健所の許可を要するなど条件が厳しくなります。また、条件に合う家庭があっても宿泊先が分散するなど合宿の意義が薄らぐ懸念もあるところです。そのため、議員ご提案の趣旨を踏まえて考慮しますと、トレーニングセンターろくごうを活用しての取り組みが考えられます。また、交流事業ととらえた場合、かかわる町民の皆さんが多いほどその効果は大きいと考えますが、現在町では協働参画のまちづくりに関する基本方針を策定し、その具体的推進を目指しているところですので、こうした流れも考慮しながら町民の主体的な交流機運の醸成を期してまいりたいと存じます。

リリオスの利用につきましては、総合体育館ということもあってバドミントン種目のみならず多様なスポーツ種目に利用されておりますが、もとより今回の国体を契機に町内のバドミントン競技の発展は期待するところでありますので、県バドミントン協会を通じまして、大学や社会人チームの合宿誘致を働きかけてまいりたいと存じます。

また、自転車競技場につきましても、県内唯一の施設ということもあり、県民体育大会を初め高等学校の全県総体などの競技会が毎年開催されていますし、既に法政大学や明治大学自転車部の合宿実績がありますので、継続して誘致に努めるとともに、新規の開拓についても県自転車競技連盟を通じて合宿誘致を働きかけてまいりたいと存じます。

いずれにいたしましても、こうした取り組みは関係各位が知り合いにちょっと声をかけるところから小さい芽が育つものと存じますので、議員初め関係各位のご協力をお願いしたいというふうに存じます。以上です。

○議長（伊藤福章君） 5番鈴木良勝君、再質問ありますか。

○5番（鈴木良勝君）再質問はございません。ただいまの答弁で私の質問したことが町長に伝わっていることを確認したと勝手に思っておりますので、これで終わりたいと思います。

○議長（伊藤福章君） これで5番鈴木良勝君の一般質問を終わります。